

会 議 録

会議名称	令和6年度第2回大空町社会教育委員の会議	
開催日時	令和6年12月23日(月)	18時30分から 19時35分まで
開催場所	大空町役場議事堂文化ホール	
出席者の氏名	<p>9名(出席委員)※敬称略 (委員) 大西篤、今岡寛、佐藤拓也、大辻雄介、豊島孝一、原本直也 大井徹也、旭利正、長尾美和</p> <p>(欠席) 植松あゆみ、飛澤浩幸、後藤満晴、大槻昌子、岩原基之 竹内百合加、竹内大輔</p> <p>(教育委員会) 教育長、村山参事、歌丸主幹、河西主査、片山主事、松本主事 宮下主事補</p>	
傍聴者の数	—	
会議資料の名称	<p>資料1：令和6年度大空町社会教育推進計画(進捗：中間報告)</p> <p>資料2：グループワーク「社会教育施設を活用した地域づくり」</p> <p>資料3：社会教育施設基本構想について</p>	
審議内容及び結果	<p>○議案第1号 令和6年度社会教育推進計画(進捗：中間報告)について</p> <p>・教育委員会より、別紙1を基に新規及び終了した事業の進捗を説明。</p> <p>・下記のとおり、委員一人ずつ事業内容等についての意見をいただいた。</p> <p><b>【委員①】</b></p> <p>・委員として社会教育の事業を知らないといけないと思い、校長として東藻琴地区子どもワールド講師としてラグビーを指導した。</p>	

**【委員②】**

・ウィンタースポーツ実行委員会のスケートリンクの造成及びスキー教室の実施感謝。女満別小学校の子が参加できる事業が多くてうれしい。事業が充実している。

**【委員③】**

・改めて、たくさんの社会教育事業を実施していてすごいと思う。「リーダースクール」は道主催の「ジュニアリーダーコース」に参加するということか。

→コロナ禍でなくなったため、自町で育成していく枠組みを今年から作った。

**【委員④】**

・いつも子どもたちの学びの場を提供いただき感謝。一流の芸術文化にふれる機会が少ないため、芸術文化鑑賞（青少年文化劇場）は良かった。運動好きな生徒については、町内の各施設でお世話になっている。

・東藻琴野球場昨年と比べ利用者減となっている理由は。

→リトルシニア（中学生硬式野球）のみが利用している（大空町の団員が1名）。団員の変動により減少したものと思われる。

・駅前パークゴルフ場昨年と比べ利用者減となっている理由は。

→女満別駅の利用者（観光客）や老人クラブ連合会等が使っている。芝生管理は委託をしているが、芝生の状態が良くない部分も多い。利用状況も鑑みて今後整理していくことも必要。産業課所管の朝日ヶ丘P G場については、有料ということもあり施設整備に投資ができるため、利用者が流れているという考え方もできる。

**【委員⑤】**

・一年間お疲れさまでした。振り返ると、スポーツの分野でさえも知らない事業があり見に行ったり、自己研鑽しないといけないと改めて感じた。

**【委員⑥】**

・子どもたちは参加して楽しいとの声を聞いている。バレーボール大会など、どんどん参加者が農家でも減っている。大会後の農作業が忙しくなるため。夏の事業の参加は難しい。

**【委員⑦】**

・雪が降らないと作業できないが、ウィンタースポーツ実行委員会として、スケートリンクをこれから作っていきたい。個人的にだが、ミニバスの指導をしており、バス合宿でクリニックを実施していただき、貴重な機会をいただき感謝。

・ゲートボールセンターが取り壊しになると、他の施設との利用調整が必要になると思う。団体に対する利用環境についてご配慮いただきたい。

**【委員⑧】**

・BGの業務でちあふるとの運動教室を実施した。今までは子ども対象の事業が多かったが、今までやったことがないため、わからないことが広がってくる。様々な団体とBGの事業を連携させてつながる場面を少しずつ増やしていきたい。

**【委員⑨】**

・300歳バレーボール大会や、ソフトボール大会、自治会での実施が難しくなっている。やりたい人が、参加しやすい環境づくりが大切になる。

→ミニバレーボール大会、昨年締め切り後に高校生が出たいと要望があり、協会と協議しOKにした。今年は最初からOKに。自治会にこだわらない参加の手法も今後検討していく。

・令和6年度社会教育委員活動について口頭で教育委員会より報告。

○グループワーク

・欠席者が多いため、資料後段の説明のみを実施した。グループワークは次年度に実施をする。

○その他

- ・社会教育新施設基本構想の進捗及び今後の進め方に関する説明

→教育委員会が主体となり、人づくりの視点で基本構想を考えていたが、来年から町長部局が中心となり、今までの議論をベースとし、町づくりの視点をさらに追加し進めていくことになった。

→文科省の財源がなく、内閣府・国土交通省の財源を予定している。民間の導入検討や財源を得るための各種計画・戦略への搭載も含め、町長部局でオペレーションをしていくことが望ましいとの判断。

→今後のスケジュール：R6 現行の社会教育施設から町づくりの視点の考えに。R7・8 各利用団体の調整。R10 新施設建設工事。R11 新施設供用開始。

- ・次回会議（委員長）

→最終会議を3月中旬に予定したい。終了後、懇親会を実施できないだろうかと考えている。みなさんの予定を確認しながら改めて、会議の日程と含めてご案内したい。次回会議の時間18時でどうか。会場は東藻琴。

○委員長挨拶

・基本構想にもある、「人づくり、つながりづくり、地域づくり」。これを我々社会教育委員が進めていくのが大切。委員どうしのつながりがあれば、思いや夢を語れるのではないか。残りの事業にも、ぜひ参加していただきたい。